

2月「19の日」行動

岸田政権と維新の改憲策動は許さない！
市民と立憲野党は共同して憲法、命と暮らしを守ろう

岸田政権は維新の会などの動きにも推されて、国会で改憲策動を強め、国民民主党もこれに加担しようとしています。これまでも国会の三分の二を改憲勢力が握る状況が在りましたが、世論と市民の運動が、立憲野党と共闘し、政治の暴走を阻んできました。



今新しい政治状況の中

で、改めて力を合わせて、改憲を許さない国民世論を高めることが求められます。コロナの感染爆発による医療崩壊、自宅療養という名の治療や生活支援の放棄は、自公政権による「人災」です。岸田政権はこの感染拡大の中、補正予算で莫大な防衛費を計上し、米国兵器の爆買いや思いやり予算の拡大、自衛隊の大軍拡をすすめています。そして第6波はその米軍が火種となっています。安倍・菅政権の延長線ではなく、憲法にもとづく命と暮らしを第一にする政治への転換が必要であり、近づく知事選挙でも問われています。

そのためにも新たに提起された、新署名「憲法改憲を許さない全国署名」の取り組みを開始し、多くの市民との対話を開始しましょう。「憲法守れ!」「命と暮らしを守る政治を!」の声をあげましょう。

とき **2月19日(土)**

午後4時30分～ 街頭演説

スタンディングアピールのみ、デモは中止します。
マスク等感染対策をお願いします。

ところ 京都市役所前(御池通側歩道)

呼びかけ 市民アクション@きょうと